

北近畿タンゴ鉄道生活交通改善事業計画に関する協議会 開催結果

1. 日 時

令和7年3月5日（水）9時20分から10時35分まで

2. 場 所

京都府中丹西保健所 講堂

3. 出席者

委員35名（うち代理6名）

オブザーバー1名

（別紙 出席者名簿参照）

4. 当日資料

別紙のとおり

5. 議 題

第1号 地域公共交通計画に係る令和7年度実施計画（案）について

第2号 令和7年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

6. 主な意見

〈第1号 地域公共交通計画に係る令和7年度実施計画（案）について〉

- 万博関連施策はスピード感を持って実施してほしい。
- 万博に向けて、公共交通のキャッシュレス化は喫緊の課題である。
- 公共交通のキャッシュレス決済については早急に導入できるよう、関係者と協議を行っている。
- 月1回乗車運動は、1日に限るのではなく、「丹鉄利用ウィーク」のようにして通勤でも利用しやすい形を検討されたい。
- 与謝野駅で3月22日に桜をテーマにしたイベントを開催する。丹後山田駅（現与謝野駅）の開業時に、地元の祭礼「太刀振り」で祝福したという伝承から、4月に太刀振りを行うほか、7月には100周年の本イベントを行う予定。
- 岩滝口駅では毎月サロンを行っているが、8月に地元自治会とも連携してイベントを行う予定。

- 地域のイベント等について、交通事業者として一体となって取り組んでいきたい。
- 貴重な財源を有効活用し、鉄道事業者として安全運行を守っていきたい。
- イベント開催費用を賄うクラウドファンディングを実施し、多くの寄附を頂いた。今回は鉄道ファンやかつて丹後に住んでいた人からの寄附が多かったのも、もっと地域に支援いただけるようにしたい。
- 伊根航路は鉄路と海路の連携で相乗効果が高まると期待しているが、乗客が少なく勿体ない印象であった。
- 伊根航路は後半にかけて認知が高まるにつれて乗客が増加している。
- 降雪による運休時の鉄道の運転再開について、観光事業者に事前にアナウンスするなど、配慮をお願いする。
- R6 の総括的な評価や、それを踏まえた R7 の方針はどうか。
- R6 は計画ができたばかりで、まずは着手することを重視してきたと評価している。R7 は万博と宮津線 100 周年を重視しており、さらに地域に広げていくことを目指したい。
- まだ丹後に来ていないものの興味を持っている層の意識を把握することが大切だ。ウエストレールパスの国籍調査と連動するのが良い。最近は外国人観光客もリピーターが増えており、京都よりもディープな箇所を求めている。
- 天橋立駅は台湾人観光客が倍増しており、バスの続行便が必要となっている。対策を取っていく。
- 海の京都は「The Origin of Japan」というブランディングをしている。顧客層は英米が中心で、台湾向けにも伊根以外のエリアを売り込んでいるところ。
- 観光客に高速バスや鉄道でアクセスしていただくために、自家用車で来ると損をするような施策をしてほしい。
- オーバーツーリズムが起きていると知れ渡ると、日本人が来なくなる。外国人を呼びたい思いは理解するが、呼びすぎると持続可能性が失われる。

- 安心安全な運行こそ最重要。土砂崩れなどへの備えを念頭に、安全に留意願う。
- 社会実験であっても、何らかの交通手段を運行するなら、インターネットマップに載せることが必須だ。来てほしいポイントはマップに載せ、来てほしくないところは消すことも考えるべきだ。
- 今はAIに時刻表を学習させれば簡単にGTFS化できるので、ぜひ実施されたい。

〈第2号 令和7年度事業計画（案）及び収支予算（案）について〉

- 特に意見無し。